

神奈川ウォーキング参加H24-02

相模新西国三十三観音札所巡り-V

「煩惱・乞う・希う」菩薩と二人旅

日時：平成24年7月24日(火) 集合秦野駅9:45

コース：【計画】秦野駅前(バス)10:10→小熊天神前→二十九番「大乘院」→二十八番「正蔵院」→二十五番「延命寺」→バス<銀八鯨>往復→二十七番「龍雲寺」→二十六番「妙覚寺」→(バス)→平塚駅

【変更】二十八番「正蔵院」を終えた時点で既に11:30、「延命寺」バス迎え11:45予定で、それまではとても間に合わない。電話で昼食予約の、<銀八鯨>に連絡し、打ち合わせ結果、「正蔵寺」から途中<富士見台病院>まで歩き、以後(バス)→<銀八鯨>→(バス)→二十五番「延命寺」→二十七番「龍雲寺」→二十六番「妙覚寺」(バス)→平塚駅

参加者：【1班】GL岸田和子・鈴木徳・山浦和(総括L)・平山(SL)・野中(講師)・関根・安藤・斎藤・平林 9人 【2班】GL大貫和子・平野・荒波・渡辺ノ・栗本・山浦レ・青山・藤崎・濱崎和・山内・伊藤眞 11人 合計20人

天候：曇り後晴(資料は平塚市観光協会編集「相模の霊所巡り」他から引用し、写真は許可済みです)

平成24年1月24日(火)「相模新西国三十三観音札所巡り-I」、二宮4寺から始まり、大磯8寺、平塚17寺の内、終りの5寺を巡り、平成24年9月15日(火)の秦野4寺で最後、33寺巡り達成です。5月17(木)の「観音札所巡り-IV」は、5/16(水)~17(木)「おとこの台所10周年記念：東伊豆・熱川温泉一泊旅行」プロジェクトチームの幹事役で参加出来ませんでした。今回山浦さんから7/4に参加依頼メールを戴き、出来るだけスケジュールを空ける方向で、他の行事を避けて参加することが出来ました。

秦野駅改札出口で、山浦L・平山SLから資料を戴き、岸田・大貫両GLに参加費¥1,500を渡し。バス乗り場へ。秦野駅前①番バス乗り場、夏休みと云うのに、学生が並んでいるが、予定通り10:10出発、小熊天神前で降りる。



バスを降りて「大乘院」に向う途中、檻に囲まれた「ワンちゃん軍団」に歓迎された。

①二十九番札所 星光山「大乘院」天台宗 千手観音菩薩 (行基作)

本山は比叡山延暦寺。御本尊は阿弥陀如来 (恵心僧都作)。創立開基は平安時代で、鎌倉時代1177~1181年、源頼朝の家臣土屋三郎宗遠により殿堂仏閣が再建され、鎮護国家の道場として相模の国の一山 (中本山) となっている。本殿再建中で、屋根棟に三つの菊の御門が飾られている。←



此処の境内で鈴木さんによるストレッチ↑。腰痛・首・股関節痛み、自身の体験に基づく、解説入りのストレッチでした。「骨盤は体の中心です。良く伸ばし、鈴木さんの様に美しい体形を保ちましょう！」有り難うございました。山浦和総括L、平山SLからのコース説明と、御馴染み野中講師の紹介後、本堂に入りました。

本堂に案内されたが、「千手観音菩薩」は解放されておりませんでした。「千手観音菩薩」像は、平塚市観光協会「相模の札所巡り」から転写しました。(下の写真右端) 御本尊の「阿弥陀如来」(写真中央) も近くには寄れず、一応写真の許可は戴きましたが、良く撮れておりません。



山浦和総括L脚を痛め、数日前には歩けぬ程であったそうですが、伸ばす治療で少し良くなり、今日は安藤運転手付き車で移動し、案内を務めるとの事で大変でした。しかし後半は鈴木さんのストレッチが効いたのか、少し軽やかになられたようです。

次の「二十八番札所・正蔵院」に向う途中は、里山風景たっぷりでした。「金目川」も記憶に残っておりました。



↑ヤバネススキ、お牛さんに挨拶し、「座禅川」を渡ると、栗の実、生え揃った緑の稲水田、綺麗ですネ～↓

②二十八番札所 星峯山 「正蔵院」天台宗 如意輪観音菩薩 (恵心僧都作)

現在の本堂は1753年越中富山の佳人(中尾熊蔵)が諸国巡業の途次、当院の庵に留まり、金24両の寄付により再建されたと記録に残っているようです。



↑御丈12cmの「如意輪観音菩薩」を真近で見せてもらいました。地像菩薩、阿弥陀如来も安置されていました。「正蔵院」の本堂でお茶を戴いていると、電話が入る。時間を見ると11:30。予定よ



り相当遅れており、冒頭記述の通り、予定から変更して、「富士見台病院」(写真左)まで約20分歩き、←「銀八鮎」送迎バスを待ち、昼食に変更となる。当初45分位歩くところ、「バスで楽々、行ける～」しかし、ここが平山SL御推奨の素晴らしいウォーキング眺望ポイントでした、残念でした。車窓からゴルフ場や、金目川を見ながら渋沢駅までバックしました。

③昼食「銀八鯨」 12:40~13:50 二階の掘りごたつテーブルに案内される。安藤さんの御案内。遅れた為か、飲物だけは直ぐ出たが、食事が中々出ない。二杯目注文の方も出るぐらい。混んでいるのか？しかし、出された料理、予約メニューの「まかない丼」or「にぎり鯨」、と茶碗蒸しも美味しいとの声。デザート付き¥1,260で皆さん満足でした。この後予定変更で午前中カットした「延命寺」へバスでお送り戴き、バス中昼寝の方も居られ、「御膳付き、昼寝付き」の熟女主婦族にとっては最高の時間でした？。



↑「にぎり鯨」

←「まかない丼」(モデルは荒波さん)
「銀八鯨」入り口と「送迎バス」→
14:25バスで「延命寺」に到着



最後の乗客、栗本さん→

④二十五番札所 善澤山 「延命寺」天台宗 千手観世音菩薩
本尊は「延命地蔵菩薩」で、その脇に「千手観世音菩薩」が有るが、本日は御開帳されておらず、「相模札所巡り」から転写しました。↓



午前中訪問予定の変更が連絡されておらず、御立腹の様子でしたが本堂に上がらせて戴きました。陳謝。

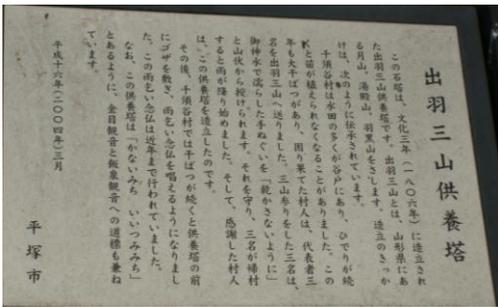


←↑この木何の木？
気になる木
この木と本堂を背景
に集合写真



延命寺は約30分、14:50寺を出て再び田圃道をゆく。布施氏の館跡の長屋門、トウモロコシ、乳牛、向日葵と、夏の里山道は素晴らしい。

「延命寺」から「龍雲寺」に向う途中「出羽三山供養塔」を見つける。この地ではよく見かけるようです。



⑤二十七番札所 東海山「龍雲寺」曹洞宗 馬頭観音菩薩 (行基作)



この寺は下吉沢の松岩寺の隠居寺で、檀家はない。開基は増尾出雲。第二十六代山室住職が亡くなられて無住となった。お世話役は地元有志、曾我透氏（元県立高校校長）の御案内で、御本尊を拝顔致しました。

ガラス窓の光反射で見にくい写真ですが→

「龍雲寺」を出て、今日最後の「妙覚寺」へ向う。

神奈川ウォーキング得意の「階段」を登る。今日は途中送迎バスで“楽ちん”しましたので、少し戒めですぞ！（平山SLの御言葉ではありません。）丘の道で、夏休みでも部活でしょうか、下校中の子供に「あの塔の部屋は何をすところ？」と聴く山内さん、「見晴らしがいいです・・・」子供達。



⑥二十六番札所 吉澤山「妙覚寺」天台宗 准胝仏母（子易）観音観音菩薩

比叡山延暦寺が本山。開基は1142年、開山は持長上人。本尊は「阿弥陀如来」。二十八番の「正蔵寺」が兼務寺。「准胝観音」は「七俱胝仏母」ともいわれ、「七千万の仏の母」即ち過去に無量の諸仏の母であり「子宝・安産・子供の安らかな成長」を叶える観音様。「もう関係ない？」「娘たちですよ！」



准胝：じゅてい。インド語で音読み字ですが、「清浄」を意味し、「清らかな仏母」の意味です。「胝」はワードで「てい」では出ませんでした。「たこ」出ました。胝：(ち、たこ)「手足の表皮が圧迫されて硬化したもの」の意。



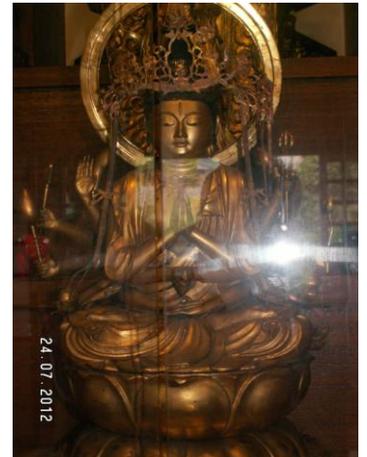
山門（室町時代の四脚門）県重要文化財



本堂の本尊「阿弥陀如来」



煩焼地藏（南北時代兵火変色）



本堂から、別の離れに案内された。ここには眩いほどの三十三体の観音像が安置されている。ここに来れば三十三札所の観音様が全て拝顔出来ます。（ガラス越しで写真が上手く撮れませんでした）住職の如来様と観音様についての御話と「御子が授かった」事例の御話を聴き、御利益のあるお寺であることを知り、悟られたことと思います。16時過ぎになり、バス時間の関係で席を立つ。此处で解散することとし、公式発表9,600歩 約7km 「寺前橋」停留所から16:15に乗ろうとするも満員でアフター不参加者のみ乗車。バス停をもう一つ先の「中沢橋」に変えて歩き、16:44、日向岡トンネルを抜けて、平塚駅北口へ。ガラガラでした。17時過ぎ駅へ到着し、駅構内の予約されていた「戸風炉」でアフターウォーク。山浦さん司会で各人に感想を聴きながら、手際良い関根さんにお任せしてのバランス良い料理で楽しく美味しく戴きました。19:30切り上げ、自宅には健康的な21時に帰り、お風呂上がりに軽く我が身に感謝の杯を与えました。伊藤自宅含め13,600歩約9km



↑今度は大丈夫かな～



編集後記

三十三観音札所巡りも、後9/16(火)秦野四寺を残すだけとなりました。山浦・平山・野中各位の事前訪問折衝を含め、深く感謝致します。ハプニングもありましたが、各住職の配慮もあり、無事楽しく終えることが出来ました。（総会やアフターの席でも申し上げましたように私の「ポケ防止用の日記」も兼ねておりますので、プライベートも入り、失礼な記述が有るやもしれませんがお許しの程を。）